

○人口の将来展望における各推計の算出方法

①社人研推計に準拠した推計 (2065 (令和 47) 年の推計値 85,925 人)

- ・主に 2010 (平成 22) 年から 2015 (平成 27) 年の人口の動向を勘案し将来の人口を推計。
- ・移動率は、今後、全域的に縮小すると仮定。

②直近の実績値に基づく推計 (2065 (令和 47) 年の推計値 92,120 人)

- ・合計特殊出生率は 2017 (平成 29) 年の実績値 (=1.75)、純移動率は 2018 (平成 30) 年の実績値 (= -0.00096) が今後も同水準で推移するものと仮定。

③本市独自の推計 (2065 (令和 47) 年の推計値 99,207 人)

○自然増減 (出生等) に関する仮定

- ・合計特殊出生率が 2040 (令和 22) 年までに 2.07 まで上昇、2040 (令和 22) 年以降は 2.07 のまま推移するものと仮定。
- ・2017 (平成 29) 年の実績値は 1.75 であるが、人口ビジョンについては最新の国勢調査 (2015 (H27) 年) の時点修正とすることから、現戦略の数値をそのまま使用する。

表 各推計の出生率と純移動数

		2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2035 (R17)	2040 (R22)	2045 (R27)	2050 (R32)	2055 (R37)	2060 (R42)	2065 (R47)
社人研推計 に準拠した 推計	出生率	1.68	1.66	1.66	1.67	1.68	1.68	1.68	1.68	1.68	1.68
	純移動数	-345	-115	-98	-81	-66	-56	-54	-51	-49	-46
直近の実績 値に基づく 推計	出生率	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75
	純移動数	-124	-121	-118	-115	-111	-106	-102	-89	-85	-82
本市独自 推計	出生率	1.70	1.75	1.80	1.94	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07
	純移動数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0